

病人 びょうにん

病びょう気きになると、健康けんこうなときとくらべて、どんな困こまたことがあるか、考かんえたことをつぎの空白くうはくに書かいてください。

イエスさまは病人びょうにんをなおされる

イエスさまはガリラヤ地方ちほうを回まわっていたあいだに、

たくさんびょうにんの病人をなおしました。今日きょうの福音ふくいんの記き事じ

で、イエスさまが「祭司さいしたちのところに行いって、体からだ

見みせなさい」と言いわれたのは、その当とう時じの習しゅう慣かんとし

て、重おもい皮ひ膚ふ病びょうがなおると、祭さい司しのところへ行いって、

なおった事ことを証しょう明めいしてもらわなければいけなかった

のです。つまり、祭さい司しのところおもで、重おもい皮ひ膚ふ病びょうがなお

った事ことを証しょう明めいしてもらってはじめて、街まちの中なかを大おおき

な顔かおをして歩あるけるようになるのです。

イエスさまの時じ代だいは、今いまのように医い学がくが進しん歩ほしてい

なかつたので、人が病気になる、その人が何か悪い
事をして悪い霊がついたと考えていました。今なら、
病原菌がその人に入って病気になる、と考えます。

イエスさまが病人をなおされた事は、ただ病気を

なおす事だけではなかつたのです。病気の原因である

罪のゆるしがともなっていました。イエスさまが病気を

をなおされたのはただ不思議なわざを行なって人々

をひきつけるためでなく、病人が一人の人間として

社会の中で生活できる事を願っていたのです。

イエスさまが来て、病気の人たちとともに話をさ

れたり、手でふれたりすることによって、人々は、今
まで、自分たちは神さまからも見捨てられていたと思
っていたけれど、そうではなくて、自分たちも、神さ
まから忘れられていなかったことに気づき、勇気と
力を与えられて、生活することができるようになっ
たのです。

